

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回吉川市スポーツ推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和3年12月10日(金) 午前10時00分 から 正午まで
開 催 場 所	吉川市役所301・302会議室
出席委員(者)氏名	向山昌利委員、小山健一委員、岡田良訓委員、伊藤幸司委員、 上原和彦委員、伊東孝委員、星座正俊委員、岡田宏美委員、 戸張計子委員、松岡伸悟委員、豊田正一委員、加藤芙幸委員、 薄田千枝子委員、松井希世子委員 [オブザーバー] 水原康賀氏、大和田勝美氏
欠席委員(者)氏名	西野亜希委員
担当課職員職氏名	酒匂スポーツ推進課長、森田スポーツ推進課長補佐兼スポーツ 推進係係長、中井スポーツ推進課主任、田中スポーツ推進課主 事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 第1章 計画の策定にあたって「計画の期間」について (2) 第2章 現状と課題「スポーツ実施率」について (3) 第3章 計画の基本的な考え方「SDGsとの関連性」について (4) 第4章 スポーツ推進施策の展開「各施策の内容」について 4 その他 5 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	資料1 吉川市スポーツ推進計画(素案) 資料2 第5章計画の実現に向けて

	参考資料1 当日出席者名簿 参考資料2 席次表
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	伊藤幸司委員、加藤英幸委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
1 開会	
2 委員長あいさつ	パブリックコメント前の最後の機会。更に改善した形で市民にみてもらいたいので積極的な発言をお願いしたい
3 議事	
委員長	本日出席委員は15名中14名。 本日の会議録の署名委員に伊藤委員、加藤委員を指名する。 この計画の強み、特徴は、多様な方々にスポーツの機会やスポーツを通じて社会課題の解決を目指していくもの。 現状を知っている方々が揃っていると思うので、積極的な発言をお願いしたい。
事務局	(1) 第1章 計画の策定にあたって「計画の期間」について 事務局より説明後、質疑応答
委員	実施率65パーセントの目標値は、今の中学校世代が成人になるときに達成する数値のことか。
事務局	令和13年度の時に、目標値の65%になるように取り組んでいくもの。
	(2) 第2章 現状と課題「スポーツ実施率」について 事務局より説明後、質疑応答 33頁に子どもの学校の体力テストを入れる予定とあるが、13頁と別のデータを載せる予定なのか。

事務局	13頁に掲載しているデータの10年後の目標とする指標を松岡委員よりいただきたいと考えている。
委員	スポーツ実施率の説明について、週1回以上のスポーツ実施率の合計値についての説明があるが、それぞれの年代でまとめて表記した方がわかりやすいと思う。
事務局	調整する。
委員長	3つに分かれている数値を、週1回スポーツをしている人として1つにまとめる。また、それ以外のグラフについては、上位5項目のみ抽出して掲載した方がわかりやすくなると思う。
委員	<p>6頁に戻って確認がある。</p> <p>する・みる・ささえるスポーツのイメージとして紹介しているところで、競技系の項目がある。そこはするスポーツとしての表記でもいいのでは。また、みる・ささえる項目の見るについては、ひらがなでみるの表記にすれば、観ると見るを広く捉えられて説明ができると思う。</p>
事務局	パブコメまでに一度整理したい。
委員	市民は、日常生活的なものがするスポーツとしての認識がないと思う。それぞれのタイトルに「する」の表記を加えて説明すれば認識してもらえらると思う。
事務局	採用したい。
委員	全国運動能力体力調査においてスマホやテレビの画面を見ている時間がどれくらいか集計した、スクリーンタイムの指標もあるので参

事務局	<p>考までに紹介する。</p> <p>(3) 第3章 計画の基本的な考え方「SDGsとの関連性」について 事務局より説明後、質疑応答 (質問なし)</p> <p>第3章の施策体系について、前回会議から変更した点について事務局から説明。</p> <p>【変更点】</p> <p>①基本目標1の施策1～3の(1)の取組名を「スポーツに取り組む意義の理解促進」と変更。</p> <p>②基本目標2－施策1－取組(3)を「市民起点のスポーツの取組支援」と変更。</p> <p>③基本目標3－施策1－取組(3)に「地域資源の利活用の促進」を追加。</p> <p>④基本目標4－施策3の施策名を「スポーツを活用したシティプロモーション」に変更。3つの施策に波線で副題を追加。</p> <p>(4) 第4章 スポーツ推進施策の展開「各施策の内容」について 事務局より説明後、質疑応答</p> <p>基本目標1</p> <p>基本目標1についてご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>基本目標1にある3つの施策の取組1に「スポーツに取り組む意義の理解促進」と変更されたが、施策側として、子どもは子ども対象、現役世代は現役世代対象という考えで良いのか。</p>
事務局	<p>保護者が対象になるところもある。子どもの施策については、子どもにとってスポーツに勤しむ環境を整えるのは保護者の協力がない</p>

	と成しえないため保護者を見込んでいる。
	事務局から指標について説明
委員	32頁の施策1－取組3「児童・生徒がスポーツに取り組む機会の提供」の具体的施策の①吉川市体力向上推進委員会の実施、②各種授業研究委員会の実施とあるが、この2つについては、教職員が指導力向上を目指して取り組み、この取り組みを通して結果的に子どもに運動機会の提供を行うものである。直接的な子どもに対しての施策ではないため、具体的施策のトップではなく、GO!スポーツ等の後に変更したい。
事務局	改めて相談させていただく。
委員	33頁の子どもの学校の体力テストの指標について、10年後の目標値を算出するのが難しい。他の指標も10年後の目標値なのか。
事務局	他の指標については、各担当課で毎年行っている事務事業評価シートや成果表で算出しているもので、10年後を見据えて目標を立ててもらっている。維持したい数字があればいただきたいが、難しければ5年後の目標値でも可能である。
委員	市の総合振興計画で載せている学校体力テストの指標が5年後の目標値のため、そちらを使用させていただきたい。
委員	32頁の施策1－取組2「未就学児がスポーツに取り組む機会の提供」の具体的施策について、吉川市子育て支援センターにて、講師を呼んで親子を集めて身体を動かす子育て遊ぼう講座を年に何回か開催している。首がすわらないお子さんを抱っこしてエクササイズや、2歳～未就学児のお子さんとお母さんと一緒にバルーンやフープ等

	<p>を使って身体を動かす事業、また、お子さんを預かってお母さんのリフレッシュダンスをしてもらう事業もある。ぜひ具体的施策に追加したい。</p>
事務局	<p>追加する。リフレッシュ講座は現役世代の具体的施策に入れさせていただく。</p>
委員	<p>33頁に子どもの体力テストの結果の指標について、施策1－取組3「児童・生徒がスポーツに取り組む機会の提供」の、スポーツに取り組む機会の提供と、体力テストの結果がどう繋がるのか。</p>
事務局	<p>スポーツ推進計画に学校の取り組みは外せない。子どもにとって成人した際に運動することが好きなのか苦手なのかは、学校の授業で果たすことが大きく寄与されるため、その根幹を子どもの時代につくるためのスタートというイメージである。</p>
委員	<p>埼玉県では白岡市がモデルケースとしてやっているが、部活動の指導を外部指導者が担い、今後はその指導者が顧問になっていく仕組みに変わっていく可能性がある。</p> <p>その場合と学校と部活動がすみ分けされることになり、部活動の機会をだれが支援していくのか、機会の提供を市教育委員会行政が担うのか、場合によっては受益者負担となるのかという課題がある。10年後はこの仕組みが確率しているため、機会の提供を打ち出す必要がある。</p>
事務局	<p>今後計画に入れられるか相談させていただく。</p> <p>今回の会議で変更したものはパブコメ前に委員各自にメール等でお伝えする。</p>
委員	<p>31頁の基本目標1のタイトルについて、子どもはスポーツを好き</p>

	<p>にならないと環境や施設をどんなに充実させても参加しない。市民アンケートでも「スポーツが好きではないから」、「機会やきっかけがなかったから」という意見があった。好きだったらみるし、身体を動かすため、そういう人達を参加させるためにはどうするかをもっと重要視すべき。吉川市の「吉」と好きの「好」は同じ「よし」なのでひっかけてタイトルを考えてくれるとおもしろい。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本目標1が3つの世代にかかってくる。高齢者の人達までいくと、スポーツをしてもらうために背中を押さないとというところもあってこういう表現になっている。文章の中にはスポーツの楽しさを理解してもらうことが重要だと載せさせてもらった。それをもっと踏み込んでスポーツを好きになってもらうというところを何か取り入れられないかもう一度検討する。</p>
<p>委員</p>	<p>32頁施策1－取組1－具体的施策内④の「GO！スポーツ」について、「子どもから大人まで障がいの有無に関係なく」という文章を書いているが、こういうことを障がい者スポーツの中では「インクルーシブスポーツ」という表現をしている。</p>
<p>事務局</p>	<p>最初インクルーシブスポーツという文言を使っていたが、説明が必要と指摘があって別の言い方に変更した。もう一度文章中に括弧書きでインクルーシブを入れて表現してみる。</p> <p>35頁施策2－取組2－具体的施策⑥に「ライフキッズスポーツクラブの実施」を載せている。施策1－取組1「子どものスポーツ推進」の具体的施策にも載せているが、前回の会議で子どもを置いて大人だけで出かけることが難しいという意見から、そういう方を対象とするという意味で掲載した。子どもと一緒に参加することで大人もスポーツができるというように、わかりやすい表現に変える予定である。</p>

委員	35頁施策2－取組2－具体的施策④⑤について、写真を載せていただくともっとわかりやすい。
事務局	これは一人で取り組むものであって、取り組んでいる写真を撮るのは難しいため、チラシやデータを送信する機械の写真を載せさせてもらう。
委員	現役世代はスポーツをやらなくてはいけないとわかっていても時間がない等でやることができない。日常的な生活で行っている家事などもスポーツだということはどこかに入れるのか。
事務局	36頁の取組3の下にコラム入れて分かりやすく説明する。
委員	35頁の施策2－取組2－具体的施策⑤の「よしかわ健康体力づくりポイント制度事業」について、今ポイントが貯まる実施事業は何があるのか。対象の事業をもっと増やしてほしい。
事務局	担当課にプッシュしていく。
委員	頁36の施策2－取組3の「志向に応じたスポーツの提供」について、公園に運動器具があるため、一人でおこなうスポーツとして、それも具体的施策内に入るのではないか。
事務局	公園の運動器具については、施策1－取組3「地域資源の利活用の促進」に載せさせてもらっている。先程のコラムの中にも入れるが、取組3の説明文についてもいくつか例をいれて文章でもイメージできるように修正する。
委員	P36の施策2－取組3の「志向に応じたスポーツの提供」の具体的施策内に「具体的施策」と文言が入っていない。

事務局	修正する。
委員	子ども・現役世代・高齢者がおおむね何歳かわかると迷わない。
事務局	子どもは中学生まで、現役世代と高齢者は線引きが難しいため、自分で現役だと思っていたら現役の取り組みを、高齢者だと思ったら高齢者の取り組みをしてもらおう。
委員	<p>38頁施策3-取組3「外出機会の増加・生きがいつくり」の具体的施策④「アクティブシニアの活動」で、タグラグビー交流会や吉川の魅力発見ウォーキングを実施とあるが、10年間で考えるとこれ以外にも増えていくため、「小学生向けタグラグビー等、スポーツが好きになりそうな取り組みの支援等」と載せた方が幅が広がる。</p> <p>また、高齢者スポーツ大会について、連合長寿会を中心にと書いてあるが、10年と考えると、会員が減ってきているところもあり、今後もこの活動が存続するかを考えると、スポーツ大会自体を変えていく必要もある。主に連合長寿会を中心にという文言はなくてもいいかと。もっと幅広く高齢者の皆さんにスポーツをしてもらうためには高齢者スポーツ大会も見直していかなければならない。</p>
事務局	今年スポーツ大会の代わりに健康調査を実施したと思うので、また相談させてほしい。
委員	なまらん体操（地域型介護予防教室）は自治会主体でおこなう取り組みで「健康づくり介護予防リーダー」という市の講習会を受けてもらって実施してもらっている。いきいき運動教室とはつらつ運動教室は市主体のため、その違いが分かるように文章中の表現を変えていければと思う。

	基本目標 2
事務局	基本目標 2 についてご意見を伺いたい。
委員	施策 1－取組 2 の標題は障がい者を入れずに、スポーツ等を通じた多様性の理解促進にしてはどうか。
事務局	障がい者の方たちにもスポーツに関わってもらいたいという考えから、このような標題としている。
委員	資料の説明文に、障がい者スポーツとパラスポーツとの記載がされているが、どちらかに統一するか、もしくは注釈でパラスポーツについての説明書きした方がよいと思う。
事務局	障がい者スポーツで統一する。
委員	それぞれの多様性がスポーツに取り組むうえで妨げになるわけではなく、多様性をスポーツに取り組むうえで生かした形かなど。 協働でイベントを開催していく主体に対してサポートするみたいなどころが、あるといいのでは。 コラムについては、どんな形であれ自分の時間を、自分が楽しむことができる方法をスポーツなり、みることを通じてやれることを示した方がいいと考える。 標題について、多様性の理解促進の部分は、障がい者を記載してくれた方がいい。いれてくれたほうが、障がい者団体の私たちがやるという気持ちになるので。
事務局	障がい者の方たちをサポートする取組みとか、行政でも積極的に声掛けをしていくことが大切であると考えている。 取組み 2 のところに入れるか、取組み 3 のところに入れるか、積極的な発信というところもやってみたいと思う。基本目標 3 の中で情報

	<p>を発信する、必要とする方たちに情報が届くようにといった、取組みは載せてはいるが、基本目標2のところにも入れられるように検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>42頁にイベント周知、会場確保に係る支援とあるが、先ほど言われたとおり、障がい者の方は一人で参加するのが難しいので、イベントに参加できるような支援というの具体的な施策の中に入れていただけると、障害を持っている親としては、親としては非常に助かる。また、40頁にスポーツ推進委員の障がい者スポーツ指導者研修受講支援とあるが、スポーツ推進委員ではなくても障がい者スポーツ指導者を受講したい方はいるので、できたらそういった方々も支援していただけるとよい。</p>
<p>事務局</p>	<p>検討する。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者の方が地元のスポーツジムに通うのは厳しいものがある。地元のスポーツクラブとか気楽に行けて、コミュニティーが出来てそこで活動できる環境があると横と縦のつながりができると思った。</p> <p>また、吉川市国際友好協会の理事として意見を述べたい 外国籍の方とは言葉の壁があるため、中々スポーツに参加できないと思う。そういう方もスポーツに親しめる機会があればいいと思う。外国籍のかただけでなく、高齢者の方からもスポーツや遊びを教わる機会があればいいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今までの計画のなかで、外国籍の方については記載されてなかったため、41頁の施策1取組1の中に盛り込んだ。</p> <p>ボッチャ大会を来年度やりたいと思っている。障がいを持っている方、外国籍の方でチームを組んでもらって、小学生チーム、多世代チームがフラットに競い合える企画をやりたいと思っている。そのとき</p>

	<p>は国際友好協会さんにも協力を依頼すると思う。</p> <p>なお、ボッチャ大会の開催を取組2に追加する。</p>
委員	<p>39頁に記載の吉川市高齢者等公共施設無料利用証については障がい者も対象となるので、40頁の施策1－取組み1の具体的施策の中に盛り込んでほしい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
委員長	<p>42頁の施策1－取組3が吉川市のスポーツ推進計画の特徴だと思う。スポーツと社会課題、ニーズ、市民の思い、につながるころだと思うので、もう少し量を増やしたり、質を高めるといったもう少し強調できるようにしては。</p>
委員	<p>車いすというだけでスポーツのハードルがあがる。</p> <p>障がい者の方達を支える人材育成というものを念頭に置いてほしい。あいサポート事業に参加したときに、スポーツボランティアの話はでなかった。そういうのもあったら連携が図れて良いと思った。</p>
事務局	<p>施策2の取組2か取組3に明記したい。</p>
委員	<p>スポーツ認定員やそれぞれの競技団体の認定ライセンスを持っている人材をいろんなイベントとか、交流でお手伝いできればいいと思うので検討を。</p>
事務局	<p>施策2の取組2のところスポーツ認定員のことを追加する。また説明文も追加したい。</p>
委員	<p>情報を一元化して情報発信していくことはいいことだと思う。</p> <p>市民にわかりやすい形で、スポーツに触れていただく機会をつくるの</p>

	<p>はいいことである。</p> <p>他市の例になるがいろいろなスポーツクラブの情報を載せてもらってマッチングしてくれる事例もある。</p>
事務局	<p>マッチングについては、今後の検討課題とさせていただきたい。</p>
事務局	<p>45頁について意見を伺いたい。</p>
委員	<p>部活動の指導はここに該当すると思う。中学校の部活も外部委託になっていくと思うので、各スポーツクラブとか少年クラブ等の指導者も市をあげて応援していく形をとると、吉川市内のスポーツが盛り上がると思う。</p>
委員	<p>部活動のありかたが難しく、部活動を先生が指導すると競技志向になってしまう。それぞれの志向があるから、部活動と競技志向を絡めていない方がよいと考える。</p> <p>部活動指導員の在り方については、まだ見えない部分もあるので、ここに載せるのは検討事項として捉えてほしい。</p>
事務局	<p>教育委員会と相談させてほしい。</p>
事務局	<p>子どもたちの成績、卒業した後の子どもたちの成績を広報してもらえるとやる気につながる、というご意見をいただいたので、文章では説明してはいるが、具体的施策の中に追加できるように調整したい。</p>
事務局	<p>基本目標3について</p> <p>基本目標3にある、まんまる予約の登録者数の指標について、基準値は538人、目標値638人となる。</p>

委員	吉川市でも自慢できるようなスポーツ施設を検討しては。
事務局	この計画の中で分散型スポーツ施設として検討していくこととなっている。
委員	まんまる予約の指標の数値は市内の登録者数か。
事務局	市内の登録者数となっている
委員	施策2－取組み1の説明文の3行目、それぞれのライフスタイルに合った、スポーツに取り組んでもらうよう効果の発信の効果の部分を情報にしたらどうか。
事務局	何かをやることで、どういう効果があるのか発信しようという意図がある。もう一度文章を整理したい。
事務局	基本目標4 基本目標4についてご意見を伺いたい。
委員	地域の運動会にパラスポーツのようにいろいろなスポーツを楽しむ時間があればいいと思う。
委員	スポーツ少年団の話になるが、年に1度11団体400名ぐらいで、参加する全団交流会がある。 学校区・競技を離れたこどもたちの交流の場を設けている。
委員長	以上で、議事3を終了とさせていただきます。
5 その他 事務局	頂いた意見を反映させた後、パブリックコメントを12月24日か

<p>6 閉会 副委員長</p>	<p>ら来年1月25日まで実施予定。 次回の会議第5回会議は令和4年2月2日水曜日午前10時から市役所301・302会議室で開催する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和3年12月23日 署名委員 伊藤 幸司（自署） 署名委員 加藤 芙幸（自署）</p>	